

富良野市（北海道）

【自治体のあらまし】

富良野市は北海道の中央部に位置し、平成 28 年に市制施行 50 周年を迎える。西方に芦別岳、東方には十勝岳連峰がそびえ、市域の約 7 割が山林を占める自然環境にある。豊かな自然環境に恵まれた肥沃な大地では、多くの農産物が生産されており、ワインやチーズに代表される特産品が生み出されている。

また、過去 10 回 F I S ワールドカップスキー大会（アルペン競技）が開催された富良野スキー場、ラベンダーを始め四季折々を彩る自然景観、テレビドラマ「北の国から」のロケ地などにより全国に知名度が広がり、年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れる観光地でもある。

人口 22,922 人（平成 28 年 3 月 1 日現在）

【文化芸術創造都市への代表的な取組】

平成 12 年にオープンした富良野演劇工場は、運営を民間非営利法人（ふらの演劇工房）に託しており、ここを拠点に新たな演劇のソフトが生産されるとともに、様々な市民参加型のイベントが日常的に多彩に繰り広げられている。また、その企画・運営には、脚本家・倉本聰が主宰した私塾「富良野塾」のノウハウの蓄積が生かされており、地域全体で演劇によるまちづくりに取り組み、実績をあげている。

●富良野演劇工場

平成 12 年 10 月にオープンした、全国初の公設民営劇場。民間非営利法人「ふらの演劇工房」がボランティア組織で運営を受託管理し、創造的な運営を行っている。芝居づくりの拠点工場にしたいという思いが「演劇工場」の名称となった。富良野塾（現・富良野 GROUP）・富良野塾 OB などの地元劇団を支援するほか、市民や演劇人のための稽古場や発表の場の提供、演劇およびコンサートなどの鑑賞事業を実施している。



富良野演劇工場



舞台ホール



演劇工場でのロビーコンサート

●富良野塾 0B のコミュニケーション事業

俳優と脚本家の養成を目的として、脚本家・倉本聰が主宰した私塾「富良野塾」の卒塾生であり、富良野を拠点に活動する俳優やスタッフ達によって平成 21 年に演劇集団（富良野 GROUP）が結成される。ふらの演劇工房は、平成 22 年に大学の依頼でコミュニケーションワークショップを始めたのをきっかけに、富良野 GROUP などの俳優を講師役に、中高生や企業、町内会、ボランティア、富良野市内の高齢者が通う「ことぶき大学（高齢者大学）」などを対象に、毎年、コミュニケーションプログラムや表現プログラムによるワークショップを開催し、延べ 2,000 人以上の方が参加している。（平成 27 年度参加数 延べ 610 人）



コミュニケーションワークショップの様様

●ふらの演劇祭

平成 15 年に富良野市開庁 100 年記念演劇祭をきっかけに毎年開かれている演劇祭で、市民劇団のほか、希望する学校が「富良野 GROUP」の俳優による演技指導を受けて、富良野演劇工場で市民劇を含めた公演を 3 日間開催している。平成 24 年と平成 27 年には過去最多の 7 団体が参加した。

平成 27 年は、「ことぶき大学」の学生が「4 年間学習した成果を皆さんに見てほしい」と演劇祭に初参加。児童から高齢者までが参加することになり、会場を盛り上げている。

第 13 回を迎えた「ふらの演劇祭」



小学生の元気のある演技

中学生のチームワークの取れた演技

ことぶき大学（高齢者）の熟練した演技